

ベンチマナー等について

ミニバスケットボールの競技規則の【まえがき】に、「競技が友情、ほほえみ、フェアプレイの精神によっておこなわれること」とあります。また、同【あとがき】には、「ゲームは、子ども達にとって非常に魅力的なものではありますが、何が何でも勝つという考え方を子ども達に教え込んではいけません。…そして、必要な厳格さと寛大さを併せ持ち、広い視野にたって規則を理解し、子ども達が何を身につけるべきかを考えてほしい。と思います。」とあります。

わたしたち指導者は、このことを肝に銘じ、子ども達をよりよく成長させるために、ミニバスケットボールの指導を行わなければなりません。そのために、試合中のベンチマナー等について下記の内容を十分に理解し、ご協力をよろしく願います。

1 コーチ等のベンチマナーについて

次のようなことを行ってはいけません。

- ① 審判 (TOを含む) や相手に対して、不法に話しかけること、大きな声を出すこと。
- ② プレイに対して「ファウル!」「歩いた!」等の声を出し、審判の判定に対して不作法に不服を言うこと。
- ③ テーブルや椅子をたたいたり、蹴ったりすること。
- ④ 試合中にコートの中に入ること。(選手の負傷等、特別な場合を除く)
- ⑤ チーム責任者が、ベンチの前を離れて指示を出すこと。
- ⑥ ベンチ内に、鳴物を持ち込むこと。ビデオ撮影、写真撮影、携帯電話を使用すること。
- ⑦ ベンチの内外を問わず、選手に対して暴力的な言動を行うこと。
- ⑧ このような行為に対して、審判は厳格に対処します。また内容によっては、大会本部としても注意や警告に留まらず、出場停止等の重い処分をすることがあります。

2 指導者の暴力行為について

試合会場においてだけでなく、そのチームが試合中か否かを問わず、選手に対して指導者が暴力的行為を行うことは厳に慎むべきことです。これは、単に自チーム内においての問題ではなく、児童の人権擁護と健全な育成・指導の点から、ミニバスケットボール全体に対して大きな誤解を招く恐れがあるからです。暴力的行為が認められた場合、大会本部は、そのチームに対して厳格な処置を行います。

3 保護者の応援について

ベンチ外の保護者の応援は、ミニバスケットボールの性格上、必要不可欠なものといえます。しかし、興奮のあまり、時に自チームの応援に留まらず、相手チームの中傷や審判への罵声が聞かれることもあります。このベンチ外の応援については、ルール上何ら規定はありませんが、ミニバスケットボールにおいては、子ども達との関わりにおいて、それを容認することはできません。また、チームの品位や指導者の資質まで疑われることにもなります。このような点から、各チームの指導者は、ベンチ外の応援についても十分なご配慮をお願いいたします。